

対象学年	2 学年	科目名	キャリア教育講座Ⅲ 講義・演習・実技・実習	担当名	佐藤 はるか
対象学期	前 期			単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	キャリアについて学ぶとともに、職場における人間関係の築き方を学び、社会人生活に活かすことができる。
学習内容	JESC認定の教員カウンセラー資格を持つチューターや、業界に精通するキャリアセンター長が、自信やモチベーションを高めキャリアを切り開く力を養うための講義を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	自分自身のキャリアを築いていくための、さまざまなヒントを学びます。各授業の内容については、自分でも調べるなど積極的に取り組みましょう。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	キャリア教育講座の流れを理解する 在校生ガイダンスの振り返り、前期の目標設定		
2	キャリアサポートアンケート 目標の共有		
3	ITリテラシー、メディアリテラシー	ITリテラシーテキスト ※当日配布	
4	内定速報用写真撮影	黒スーツ、白インナー	
5	(1組)多様性について考える (2組)メンタルヘルス、ストレスマネジメントについて		
6	(1組)メンタルヘルス、ストレスマネジメントについて (2組)多様性について考える		
7	人間関係の築き方 人が人を理解する、コミュニケーションを円滑にする		
8	健康なカラダの維持・メンテナンスについて	動きやすい服装	
9	国際教育(前教育)		
10	国際教育(後教育)		
11	お金の話 死ぬまでにいくら必要?どうやって稼ぐ?		
12	卒業アルバムの写真撮影	メイクや服装を整えておいてください。	
13	社会の変化、社会の仕組み、働き方の多様性 民間企業の仕組み		
14	ワークライフバランス 前期の振り返り		
15	定期試験		

対象学年	2 学年	ITリテラシーⅡ	担当名	花塚 千恵美 (株)ブレインスタッフコンサルタンツ
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Excelで、応用的な関数やブックを活用して見積書などの資料を作成できる ・プレゼンテーション作成時のポイントを実践的に学び、訴求力のあるスライドの作成と発表ができる
学習内容	滋慶学園グループの企業である(株)ブレインスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、学校生活や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンはフル充電した状態で講義に参加してください ・PCに接続可能なイヤホンまたはヘッドホンと、マウスを準備してください

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	Excelで見積書を作成できる	e-learning特別講義コース (Excel実践)	無
2	データベース機能を理解し活用できる	e-learning Excelコース (Excel応用A)	無
3	応用的な関数を活用できる1	e-learning Excelコース (Excel応用B)	無
4	応用的な関数を活用できる2	e-learning Excelコース (Excel応用C)	無
5	目的に合ったグラフを選択し、作成することができる	e-learning Excelコース (Excel応用D)	無
6	ブックを活用するさまざまな機能を理解し活用できる	e-learning Excelコース (Excel応用E)	無
7	プレゼンテーションソフトの基本操作ができる	e-learningPowerPoint (1基本操作)	無
8	図形や画像を活用したスライドを作成できる	e-learningPowerPointコース (2表現力を上げる)	無
9	スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる	e-learningPowerPointコース (3動きを付ける)	無
10	スライドを視聴者にとって訴求力のある内容に編集できる、オンラインで画面共有できる	e-learning特別講義コース (PowerPoint)	無
11	スライドを完成させ、発表できる準備を完了する オンラインで画面共有できる	e-learning特別講義コース (PowerPoint)	無
12	作成したスライドを使って発表、評価ができる(1回目)	e-learningPowerPointコース (発表1)	無
13	作成したスライドを使って発表、評価ができる(2回目)	e-learningPowerPointコース (発表2)	無
14	PowerPoint学習した全内容の総復習	e-learning試験対策コース (PowerPoint)	無
15	PowerPointの基礎的な操作ができる	e-learning試験 コース (PowerPoint)	無

対象学年	2 学年	科目名	ウェディングプランナー演習Ⅱ	担当名	唐橋 誠治
対象学期(Q)	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『2023年度ハウスウェディング』サービス部門全般の運営における施行部分(当日運営)ができるようになる。
学習内容	ブライダルキャプテンにて400組以上の新郎新婦を担当した講師が、事前準備を含む当日運営に必要なサービス方法と各役割ごと(CAP・デシャップ・ドリンクカーなど)の動き方を実際に施行される第二校舎3F(リュミエール)を使用して指導します。基本マニュアルと基本の披露宴進行表をベースに授業を行い、当日の役割に関係なく全学生が全役割を把握する内容とします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	HW運営マニュアル持参のこと 授業内で配布資料は毎回の授業で使う可能性があります。ファイリングをお願いします。※当日施行リハーサルにおいては挙式の練習を3Fリュミエール内にて行うことも想定しております。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	スタッフルール・ハウスウェディングの流れを確認 (HW運営マニュアル使用)	HW運営マニュアル	
2	過去のハウスウェディング動画にてサービス全般1日の流れ、お客様の動き・スタッフ導線を確認	HW運営マニュアル	
3	ウェルカムドリンク(準備品の確認)・受付廻り・クロークについて	HW運営マニュアル	
4	迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯① (講師主導)	HW運営マニュアル	
5	迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯② (学生主導)	HW運営マニュアル	
6	食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀① (講師主導)	HW運営マニュアル	
7	食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀② (学生主導)	HW運営マニュアル	
8	中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞① (講師主導)	HW運営マニュアル	
9	中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞② (学生主導)	HW運営マニュアル	
10	お開き後のお客様対応について、片付け方法	HW運営マニュアル	
11	当日施行に向けた役割配置におけるリハーサル①	HW運営マニュアル	
12	当日施行に向けた役割配置におけるリハーサル②	HW運営マニュアル	
13	当日施行に向けた役割配置におけるリハーサル③	HW運営マニュアル	
14	予備日(リハーサル反省会ならびに定期試験対策)	HW運営マニュアル	
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ブライダル国家検定 I	担当名	山岸 智恵子
対象学期(Q)	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	ブライダルコーディネーターに必要な知識・技能・実践力を理解、習得し【3級ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格する
学習内容	日本並びに海外で数々のウエディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指せるための講義を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と、知識確認のための「WORK BOOK」を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	I ブライダルコーディネーターとは/1章:定義・必要な知識と能力 2章:企画提案に必要な要素	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	テキストエキスパートP14～18を読む
2	2章の2～ブライダルセールス、クロージングと成約、打合せ業務、オペレーション 3章:ブライダルビジネスのコミュニケーション	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP18～25を読む
3	3章の3～コミュニケーションにおける印象づくりと敬語 4章:ホスピタリティ	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP25～32読む
4	II ブライダルビジネスにおけるヒアリング(新規・成約)における基本的姿勢、手法の概略	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP34～52読む
5	III プランニング(新規・成約)における手法、特徴	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP54～89読む
6	IV ブライダル商品の特色を理解する/プレゼンテーション(新規・成約)、成約手続き	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP92～100読む
7	V 手配業務(ペーパーアイテム・衣装・挙式・披露宴・演出・装花)、VI 当日業務(コーディネーター役割・アテンド業務)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP122～146読む
8	I～VIまでを振り返りアウトプットする VII ブライダル市場の規模と特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP14～146復習
9	VII ブライダル市場の規模と特性/業種・業態、関連業種、集客チャネル、エリア特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP148～172読む
10	VIII 経営管理/コンプライアンス、トラブル対処	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP216～235読む
11	X-1 ブライダル基本知識/結婚の定義・日本の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP238～250読む
12	X-2 ブライダル基本知識/海外の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP251～259読む
13	X-3 ブライダル基本知識/見合い・婚約・結納	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP260～277読む
14	X-4 ブライダル基本知識/結婚式・披露宴・二次会・新婚旅行 /定期試験対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP278～299読む
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	テキスト復習、ワークブック見直し

対象学年	2 学年	科目名	ドレススタイリスト演習Ⅱ	担当名	福島圭子・坂田依智子
対象学期	前 期		講義	・演習・実技・実習	単位/時間数

到達目標	スムーズに婚礼衣裳選びのご案内ができ、イメージや体型、会場等の条件に合わせたトータルコーディネートができる
学習内容	ドレスブランドマシェリにて、500組以上の婚礼にウエディングスタイリストとして携わってきた教員と、ウエディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にてウエディングスタイリストとして長きにわたり式場やホテルの現場で婚礼衣裳業務に携わってきた教員が、現場での経験をもとにトータルコーディネート並びに接客の指導をする
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無	担当講師
1	トータルコーディネートについて～イメージ	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田
2	トータルコーディネートについて～体型	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	福島
3	トータルコーディネートについて～会場	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	福島
4	グループに分かれ、ネットの画像から「キュート(wd)」をトータルコーディネートし、カラージュ、コメント作成(小物:ヘッドドレス・アクセサリ・ベール・グローブ・ブーケ)	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	福島
5	「キュート(wd)」コーディネートのコメント発表 他のチームの感想及びフィードバック キュートのポイントまとめ	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	福島
6	グループに分かれ、ネット画像から「大人っぽい(wd)」をトータルコーディネートし、カラージュ、コメント作成(小物:ヘッドドレス・アクセサリ・ベール・グローブ・ブーケ)	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	坂田
7	「大人っぽい(wd)」コーディネートのコメント発表 他のチームの感想及びフィードバック 大人っぽいポイントまとめ	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	坂田
8	グループに分かれ、体型に配慮したWDとCDをトータルコーディネートし、カラージュにまとめ、コメント作成(ドレス別に必要に応じた小物をコーディネート)	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	福島
9	体型に配慮したWDとCDコメント発表 他のチームの感想及びフィードバック 体型カパーのポイントまとめ	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	福島
10	グループに分かれ、会場に配慮したWDとCDをトータルコーディネートし、カラージュにまとめ、コメント作成(ドレス別に必要に応じた小物をコーディネート)	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	坂田
11	会場に配慮したWDとCDコメント発表 他のチームの感想及びフィードバック 会場別ポイントまとめ	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	坂田
12	グループに分かれ、体型と会場に配慮したWDとCDをトータルコーディネートし、カラージュにまとめ、コメント作成(ドレス別に必要に応じた小物をコーディネート)	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	坂田
13	体型と会場に配慮したWDとCDコメント発表 他のチームの感想及びフィードバック 体型カパー、会場別ポイントまとめ	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	坂田
14	総復習	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	ネット等でウエディングファッションのチェック	福島・坂田
15	定期試験		ネット等でウエディングファッションのチェック	福島・坂田

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルヘアメイク	担当名	小山 萌
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	洋装・和装のブライダルヘアメイクとアテンドの基礎知識を習得し、実践できるようになる。
学習内容	美容師免許を習得後、ブライダルヘアメイクアーティストとして婚礼現場に携わり、JWSAの認定講師を取得。ウェディングビューティースタylistとして、現場での実体験を交えながら技術を習得する授業を行う。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験及び実技試験とする
履修に当たっての留意点	メイクは相モデルで行う。ヘアはウィッグを使用する。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・婚礼美容の特徴を理解する。(JWSA②1章・2章)	ヘアメイク道具一式 JWSAテキスト②(当日配布)	
2	スキンケア～ベースメイク・アイブロウを理解し、実践する。(JWSAテキスト②4章)	ヘアメイク道具一式・JWSAテキスト② スキルチェックノートブック 化粧水・乳液・化粧品(自分の使用しているもの)	
3	スキンケア～アイブロウまでの実践。アイメイク・リップ・チークを理解し、実践する。(JWSAテキスト②4章)	ヘアメイク道具一式・JWSAテキスト② スキルチェックノートブック 化粧水・乳液・化粧品(自分の使用しているもの)	
4	アイロンやホットカーラーの使い方、ピン・一束などの使い方を理解し、実践する。アップスタイルをつくる。(JWSAテキスト②4章)	ヘアメイク道具一式・JWSAテキスト② スキルチェックノートブック	
5	挙式用・披露宴用ヘアスタイルの提案の違いを理解し、アップスタイルからダウンスタイルを実践する。(JWSAテキスト②4章)	ヘアメイク道具一式・JWSAテキスト② スキルチェックノートブック	
6	和装の基本、和装メイクの特徴および夜会巻きを理解し、実践する。(JWSAテキスト②5章)	ヘアメイク道具一式・JWSAテキスト② スキルチェックノートブック	JWSAテキスト② 5章の動画を見てくる
7	新郎新婦のアテンド方法を理解し、実践する。(JWSAテキスト②9章)	ヘアメイク道具一式・JWSAテキスト② スキルチェックノートブック	JWSAテキスト② 9章の動画を見てくる
8	定期試験 試験対策・筆記試験(JWSA②認定)	ヘアメイク道具一式・JWSAテキスト② スキルチェックノートブック	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

対象学年	2 学年	科目名	着付Ⅱ(中伝)	担当名	岡野 暢子
対象学期(Q)	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	お客様の着付を習得することが出来る。山野流着装(中伝)の資格を取得する 1. ミスの第一礼装 振袖の着付と帯結び(二枚扇) 2. ミセスの第一礼装 留袖の着付と帯結び(二重太鼓)
学習内容	和装の知識・技術を長年経験した山野流着装 師範講師が講義をする 山野流中伝習得を目指し、冠婚葬祭における着物の基礎知識をわかりやすく解説し伝統を継承しながらも現代のニーズに応えられる和装着付を学ぶことができる
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする 〈中伝〉資格取得試験…ミセスの第一礼装 留袖の着付と袋帯使用の二重太鼓
履修に当たっての留意点	資格取得の科目につき遅刻・欠席は認めない 印鑑を持参すること キャミソール(タンクトップは不可)・レギンス(薄手のもの)を着用 髪は襟足にかからないよう上にまとめてあげること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ミスの第一礼装 振袖についての知識を学ぶ 体型補正から長襦袢までの着付を学ぶ(2人1組)	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル(白)2枚	
2	着付け前の準備の仕方 振袖の着付から伊達締めまでを学ぶ	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル(白)2枚	
3	振袖の着付:準備より着物の着付けまでを実習する 帯結び 二枚扇 帯揚げ・帯締めまで仕上げる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル(白)2枚	
4	振袖の着付:準備より帯結びまでを時間内に完成させる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル(白)2枚	
5	ミセスの第一礼装:留袖についての知識を学ぶ 体型補正から留袖(伊達締め)までの着付を学ぶ	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル(白)2枚	
6	留袖の着付け:準備より着物の着付けまでを実習する 帯結び 二重太鼓 帯揚げ・帯締めまで仕上げる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル(白)2枚	
7	着付け総仕上げ 着付けの準備からお客様の着付け→ 衣裳のしまい方まで(2人1組)	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル(白)2枚	
8	定期試験<中伝>取得:実技試験	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル(白)2枚	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

対象学年	2 学年	科目名	フラワーアレンジメントアドバンス I	担当名	天野 充恵
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	ウェディング全般の知識と商品としての装飾ができる
学習内容	ウェディング装花についてお客様にご提案できるような知識、企画力、構造を学ぶ
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	ウェディングのフローリストとして活躍できるよう必要な技術をしっかり身につける

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ウェディング装花のプランニング。 全体像をコラージュ制作	筆記用具	
2	前回のつづき。コラージュ制作と発表	筆記用具 コラージュに必要なもの	
3	ゲストテーブル制作。ラウンド型	ハサミセット・パオ皿・ オアシステープ	
4	クラッチブーケとブートニア	ハサミセット・ワイヤー・ フローラルテープ	
5	メインテーブル	ハサミセット・アクアベース・ フローラルテープ	
6	ラウンドブーケ・ブートニア	ハサミセット・ワイヤー・ フローラルテープ・ブーケスタンド	
7	市場見学。大田市場にてセリ、仲卸で仕入れ値を知る。 花の流通について	筆記用具	
8	キャスケードブーケ・ブートニア	ハサミセット・ワイヤー・ブライデー・ ブーケスタンド・アクアグルー	
9	変形ブーケ(バック型、ボール型)	ハサミセット・ワイヤー・ アクアグルー	
10	ゲストテーブル。 器に合わせたデザイン(コンポートなど)	ハサミセット・パオ皿・ オアシステープ	
11	プリザーブドフラワーを使ってコサージュ	ハサミセット・ワイヤー・ フローラルテープ	
12	贈呈花束の制作・ラッピング	ハサミセット	
13	ヘアード(カチューシャ・リング)	ハサミセット・ワイヤー・ フローラルテープ	
14	フリースタイルブーケ (花材を見てオリジナルデザイン)	ハサミセット・ブライデー・ ブーケスタンド	
15	定期試験(実技)	ハサミセット・レシクラポット・ オアシステープ	

対象学年	2 学年	科目名	フローリスト演習Ⅱ	担当名	伏見 さゆり
対象学期	前 期		講義	演習・実技・実習	単位/時間数

到達目標	フラワーデザインの基本的な知識に加え、ブライダルにおける花との関わりを専門的に深め、ブライダルに特化したコンセプチュアルスキルを磨き、幅広いデザイン表現できるように実践的にフラワー業界で活躍できる人材を育成する。
学習内容	ヨーロッパフラワーデザイン連盟認定講師として18年6教室を運営する傍ら、企業レッスン・音楽イベント・ブライダル装花など様々なシーンで活動しております。フローリストとして、専門的知識と技術、高度なテクニックや創造性の向上を図り、即戦力となるよう経験を積み講義や実技を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業毎で使用する持ち物は、毎回確認し忘れずに持参すること。 *忘れ物をすると、作品が制作できません。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	植物の栄養、構造を理解する。 生花作品①「春のアレンジメント(タイトル付け・フリースタイル)」作成の実施。	教科書・トレー・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P4~P13まで自宅学習
2	花の個性をより引き出す価値観による分類、植物の表面構造を分類する。生花作品②「ボールブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・S字フック	教科書P14~P17まで自宅学習
3	植物の動きの形態を説明する。フラワーアレンジにおける制作構成について理解する。生花作品③「リース」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P18~P21まで自宅学習
4	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅰ(MFPについて)理解する。生花作品④「クラッチブーケ」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P22~P23まで自宅学習
5	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅱ(シンメトリーとアシンメトリーについて)理解する。生花作品⑤「ラジエーション」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ジョイント&ベース・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P24~P25まで自宅学習
6	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅲ(配列)について理解する。生花作品⑥「アーチ」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P26~P28まで自宅学習
7	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅳ(プロポーション)について理解する。生花作品⑦「EFD1級検定学内試験アーチ」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ジョイント&ベース・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P29自宅学習
8	アレンジメントにおける花材やデザインに合った適切な方法メカニックスについて理解する。生花作品⑧「バックブーケ」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・S字フック	教科書P30~P31まで自宅学習
9	ウェディングを演出するに欠かせない花飾りについて理解する。生花作品⑨「シャワーブーケ」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P32~P43まで自宅学習
10	現場制作生け込み、ハーブについて理解する。生花作品⑩「夏のアレンジメント(タイトル付け・フリースタイル)」作成の実施。	教科書・コンポートカップ・ベース・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P44~P47まで自宅学習
11	色による感情効果、カラーコーディネートについて理解する。生花作品⑪「ブリザードフラワーメリア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・グルーガン	教科書P48~P53まで自宅学習
12	テーブルコーディネートについて理解する。生花作品⑫「テーブルフラワーキャンドルアレンジメント」作成の実施。	教科書・コンポートカップ・ベース・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P54~P58まで自宅学習
13	フラワーアレンジメントの時代と様式を理解する。生花作品⑬「スクエア」作成の実施。	教科書・トレー・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P59自宅学習
14	フラワーアレンジメント全般の用語、展開図について理解する。生花作品⑭「キャスケードブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P62~P103まで自宅学習
15	1限目 EFD1級検定学内試験キャスケードブーケ 2限目 定期試験	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	第1回~14回講義内容・EFD検定実技試験自宅学習

対象学年	2 学年	科目名	写真撮影実践		担当名	近藤	
対象学期	前期		講義	・ 演習 ・	実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	写真の本質とウェディングフォトの秘訣を実践的に学ぶことにより、現場での対応力を身につける
学習内容	ウェディングフォトのベテラン講師が、良い写真の撮り方を実践的に講義する
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	・興味を持って実践し、写真の撮影技術と楽しさを積極的に身につけましょう ・カメラ・レンズ、バッテリー(充電済み)、メディア(SDカード)、Macは常に持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	担当	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 写真とは	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
2	プロの現場でのカメラの使い方について	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
3	光を読む	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
4	環境光(自然光)での撮り方	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
5	ストロボ光での撮り方	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
6	ポートレート撮影実践1	近藤	ミラーレスカメラ	
7	構図とフレーミング	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
8	画角・カメラポジションによる表現	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
9	絞り・シャッター速度による表現	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
10	ポートレート撮影実践2	近藤	ミラーレスカメラ	
11	主題の引き立て方(主題と背景、視線誘導)	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
12	ポートレート撮影実践3	近藤	ミラーレスカメラ	
13	フォーマル写真の並べ方、撮り方	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
14	講評、振り返りまとめ	近藤	ミラーレスカメラ、Mac	
15	定期試験(写真)	近藤		

対象学年	2 学年	科目名	広告・アルバム作成演習I	担当名	近藤
対象学期	前 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間
到達目標	広告・アルバム制作を実践的に学ぶことにより、現場での対応力を身につける				
学習内容	ウェディングフォトのベテラン講師が、広告・アルバム制作の技術、デザインについて講義する。				
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	Macおよび撮影画像データを忘れずに持参すること				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	担当	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション Macの使い方	近藤	Mac	
2	Photoshop、Illustratorの基礎	近藤	Mac	
3	デザインとは何か デザインの実例	近藤	Mac	
4	デザインの4つの基本原則	近藤	Mac	
5	色の三属性、分類、見え方、配色ルール、対比	近藤	Mac	
6	文字の種類と基本、フォント	近藤	Mac	
7	レイアウトの基本	近藤	Mac	
8	アルバム制作の基礎知識	近藤	Mac	
9	アルバム作成実習 Photoshop 写真の編集	近藤	Mac	
10	アルバム作成実習 Illustrator ページの作成	近藤	Mac	
11	アルバム作成実習 Illustrator 写真のレイアウト	近藤	Mac	
12	アルバム作成実習 PhotoshopとIllustratorの連携	近藤	Mac	
13	広告の実例研究	近藤	Mac	
14	振り返り総まとめ	近藤	Mac	
15	定期試験	近藤		

対象学年	2 学年	科目名	ハウスウェディング運営プログラム II	担当名	中村・長谷川・福島・天野・内垣		
対象学期	前期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位 時間数	8単位	120	時間

到達目標	結婚式の企画、運営をすることにより、ブライダルへの理解を深め、実際の結婚式の施行を経験し、将来の仕事の理解と仕事の醍醐味を知ることにより、自ら考え、行動できる力と継続して働く力を身につける。
学習内容	ブライダル業界の最前線で活躍してきたウェディングプランナー、ドレススタイリスト、フラワーデザイナー、フォトグラファーが実務と施工の指導を行う。また実際の現場のスペシャリストを招いての特別講義など、業界即戦力となるスキルを身につけることを目指す。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+個人課題60点の合計点数100点にて成績を算出する。 評価は、S・Uで行う。
履修に当たっての留意点	授業やハウスウェディングの運営および会場使用、備品使用等のルールはすべてHW運営マニュアルに記載のとおりとする。お打ち合わせ業務に参加した日は全て日報を記録すること。

授業回数別教育内容

回数	1限	2限	3限	4限
1	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。			事務連絡・成約後ヒアリングとは？ 司会レッスン
2	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。			マイプリント様セミナー
3	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。			ドレスインナーセミナー・セモア様
4	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。			音響セミナー・ワクワークス様
5	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。 (1限:FL・PH専攻は合同 ブーケの色々)			司会セミナー 司会者レッスン、役割決定
6	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。			結婚式当日のスタッフ間の連携確認 インカムの使い方
7	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。			料飲セミナー・フォリオクラッセ様
8	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。			工程表づくり① (来館～挙式前)
9	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。 PH専攻:動画撮影とは			工程表づくり② (挙式～披露宴前)
10	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。 PH専攻:動画撮影実践・編集			工程表づくり③ (披露宴～お見送り)
11	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。 PH専攻:動画撮影実践・編集	全専攻対象:アテンドセミナー&レクチャー		
12	立ち位置確認(Polarisメイン、Rubanサポート、Beatお客様役) FL専攻:打ち合わせ時のツール制作。打ち合わせロープレ。	専攻ごと 立ち位置確認後の全体振り返り ※Polaris:音響レッスン、司会レッスン		チームごとに進行に沿った連携確認
13	Polaris:通しオペレーション① DR専攻:アテンド通しレッスン FL専攻:打ち合わせロープレ、ヒアリング (当日動きのある学生はオペレーションに参加)			
14	各専攻ごと:通しオペレーションの振り返り FL専攻:デザイン確認、花材だし、資材確認			
15	Polaris:通しオペレーション② FL専攻:前日、当日の動き確認。事前準備(当日動きのある学生はオペレーションに参加)			